



**INDEX**

P1-	P2、3-	P4~7-	P8~11-	P12-
代表挨拶	ゆめっとフォーラム 2016開催報告	ゆめっと京都 20年のあゆみ	ゆめっと京都 20周年を迎えて (歴代役員より)	ゆめ企画コンテスト 企画募集

**次世代へ繋ぐ**



京都青少年ゆめネットワーク代表  
砂山真一  
(一般財団法人 ポジティブアース  
ネイチャーズスクール 代表理事)

私がゆめっと京都代表に就任いたしました3年が経とうとしています。この3年間で会員のみなさまと一緒に何かをしてきたのかと考えると、まだまだできていない事が多かったと感じる3年間でした。私が前職の頃に上司に代わり、ゆめっとの役員となったのが10数年前。その時はまだ、各委員会も活発で役員会も常に10名以上のメンバーで運営してまいりました。

当時はいまほど、SNSが発達しておらず、各団体がネットワークを構築していく上で、ゆめっとのような組織の集まりが必要で、皆が顔を合わせて話し合う場がネットワークの中心でした。しかし、現在、フェイスブックやツイッターなどで、組織の考えを伝えたり、団体同士のつながりを持つ事が容易になりました。インターネットの世界を通して、声と声による会話ではなく、文字と文字が行き交い、コミュニケーションを持つ事ができるようになりました。この利便性は我々青少年活動を行う組織にとって、ボランティアスタッフの確保や、組織同士のつながりを大きく発展させました。しかし、その利便性の反面、顔を突き合わせた会議や、つながりをつくる機会が減ってきているとも感じています。これまで京都府下において青少年活動を支えてきた方達にとって、やはり、SNSはとっつきにくいツールでもあり、顔の見えない関係の構築に抵抗もあると思います。そんなみなさんと、現在フェイスブックなどをうまく活用し、情報を発信している若い世代が中心とした組織とをゆめっとが接着剤となり、繋げていきたいのではと思います。

歴史ある組織と新しい世代の組織をバランスよく繋げていく事で、京都府下の青少年活動が活性化していくサポートを行っていければと思います。

今後ともゆめっと京都をお願いいたします。

## 京都青少年ゆめネットワーク設立20周年記念 「ゆめっとフォーラム2016」を開催しました

2016年(平成28年)12月4日(日)、設立20周年の記念事業として、夢の実現のための基盤作りを目指した「ゆめっとフォーラム2016」を開催しました。

会場は、2003年から2007年までの4年間、京都青少年ゆめネットワーク(ゆめっと京都)の事務局があった、京都テルサ(京都府民総合交流プラザ)でした。

ゆめっと20年間の歩みを写真のスライドショーで振り返った後、砂山真一代表が挨拶を行いました。

次に、京都府府民生活部青少年課の中川多鶴子課長様と、公益社団法人京都府青少年育成協会会長の勝間喜一郎様から、御来賓の挨拶をいただきました。中川課長様と勝間会長様におかれましては、御多忙のところ、お越しいただき、ご丁寧な御挨拶を賜り、ありがとうございました。その後、祝電の披露があり、フォーラムが始まりました。

前半は、広島修道大学人間環境学部教授、環境共育事務所カラーズ代表の西村仁志さんによる基調講演。西村さんは、ゆめっとフォーラム2004のときに、講師としてお越しいただいており、12年振りの再会でした。



西村さんはもともと、同志社大学在学中にボランティアとして京都YMCAで活動、大学卒業後は京都YMCA職員として勤務され、京都の青少年活動とは深い縁がある方です。YMCAを退職された後、アメリカの一人旅や、無職で家族と楽しく暮らす生活を経て、個人事務所「環境共育事務所カラーズ」を開業され、環境学習、市民参加まちづくりのコーディネート、コンサルティングや研修会、イベント等の企画運営などを行って来られました。その後、同志社大学大学院でのソーシャル・イノベーションの研究を経て、広島修道大学人間環境学部教授として、新たな道を歩んでおられます。



講演では、これまでの経歴と、そのときどきのネットワークを活用された仕事についてお話しいただきました。

後半は、ワークショップ。NPO法人場とつながりラボ home's vi スタッフの山本彩代さんにファシリテーターをお願いしました。山本さんは、大阪生まれ。4歳の頃に尼崎で被災し、大阪府内に移住。歴史と家族との関わりについて興味のある子供だったそうです。関西大学在学中に、国際学生協会でも国際交流の様々なプロジェクトで活動、プロジェクトや人の関係に興味を持たれ、大阪市で友人と主催したゲートキーパー研修でのワールドカフェにて、分野や立場を超えた方が集い対話をする事で社会の問題を解決できる可能性を感じられました。2015年から、NPO法人場とつながりラボhome's viにてファシリテーター、グラフィッカーとして活動中です。



まちづくり、U-35、高校生、アート、教育など様々な分野の方と携わりながら企画を作っていくことが楽しみだそうです。

山本さんから、最初に、ワールドカフェについて、過ごし方のヒントの説明がありました。

- ・多様な意見が場を豊かにします。感じたことは率直に。
- ・すぐに否定しないよう。
- ・きくをこころがけてみましょう。
- ・今日は自分の立場や役割を少し脇に置いて。
- ・どうせ過ごすなら楽しみながら 無理はせず。

西村さんも参加いただき、4人から5人ごとのテーブルに分かれて、時間の関係上、2つのラウンドで、ワールドカフェを行いました。



ラウンド1「あなたや、あなたの大切な人の夢、やりたいことは、どんなことでしょうか」

ラウンド2「夢・やりたいことを叶えるために、あなたに応援できることは？」

ワールド・カフェが終わると、会場は1階レストランに移動して、懇親会を開催。

前代表の神崎清一さんの乾杯の御発声の後、和やかに歓談を行い、ゆめつと京都の懐かしい話などが語られました。

# 京都青少年ゆめネットワーク(ゆめっと京都) 20年のあゆみ

## 歴代代表

1996年度～1999年度 伊住 政和 氏  
 2000年度～2001年度 北村 隆幸 氏  
 2002年度～2003年度 石橋 裕志 氏  
 2004年度～2013年度 神崎 清一 氏  
 2014年度～ 砂山 真一 氏

京都青少年ゆめネットワーク(ゆめっと京都)は2016年設立20周年を迎えました。これまでの20年を振り返りたいと思います。

## 1996年

3月 ゆめっと京都 設立総会  
 (京都府青年会館に事務局設置)  
 4月～ 広報誌「ゆめっと」刊行開始  
 ユース交流サロン 開始  
 7月～ 体験講座「ゆめっとと青年塾」開講  
 11月 ゆめっとフェスタ  
 (設立記念イベント)開催  
 (亀岡市にて)



体験講座「ゆめっとと青年塾」



ゆめっとフェスタ



ゆめっとフェスタ  
 青葉さんろくおもちゃ箱



## 1997年

2月 ユースフォーラム イン KYOTO  
 開催(城陽市にて)  
 2月～3月 重油回収ボランティア実施  
 (京丹後市)  
 4月 明日を考える会 始動  
 ホームページ開設  
 11月 ゆめっとフェスタ青葉さんろく  
 おもちゃ箱 開催(舞鶴市にて)

## 1998年

2月 ユースフォーラム イン KYOTO  
 開催(京田辺市にて)  
 4月 明日を考える会から  
 「オープンカフェ Circus」へ  
 10月 ゆめっとフェスタ 開催(南丹市にて)



ゆめっとフェスタ

1999年

- 4月 企画でワークショップ開催  
ゆめっとKK サポート事業 開始  
インターネット講座 実施
- 10月 団体代表者会議 開催

2001年

- 10月 5周年記念事業 京都の河川を美しく 開催  
(京都市 花背山村都市交流の森にて)

2002年

- 3月 5周年記念事業 仲間がいるから頑張れる 開催  
(京都市にて)

2003年

- 2月 ゆめっとフォーラム2003 開催(京都アスニーにて)
- 3月 春を見つけに行こうよ 開催(南山城村にて)
- 4月 事務局移転 (京都府青年会館から京都テルサへ)
- 4月～ ゆめっとファンド事業 開始

2005年

- 2月 ゆめっとフォーラム2005 開催 (私学会館にて)  
(テーマ:災害ボランティア)
- 4月～ 京都府災害ボランティアネットワークへの参画

2000年

- 4月～ 加盟団体訪問  
加盟団体紹介冊子 発行



5周年記念事業 仲間がいるから頑張れる



2004年

- 2月 ゆめっとフォーラム2004 開催(ルビノ京都堀川にて)  
(講演、ワークショップ、事例発表)
- 10月 台風災害ボランティア実施  
(舞鶴、宮津ほか)

2006年

- 2月 ゆめっとフォーラム2006 開催  
(京都文化博物館にて)  
(テーマ:職業-自分の道を歩くんだ)



ゆめっとフォーラム2006

2006年

- 4月～ ゆめ企画コンテスト事業開始
- 11月 ゆめつとフェスタ2006  
(設立10周年)開催(新風館にて)  
(コンセプト:伝える)



ゆめつとフェスタ2006



ゆめつとな夜



ゆめつとフェスタ2007

2007年

- 4月 事務局移転  
(京都テルサから京都府庁別館へ)
- 10月～ ゆめつとな夜  
(京都三条ラジオカフェ)放送開始
- 11月 ゆめつとフェスタ2007  
(コンセプト:絆)開催(新風館にて)

2008年

- 7月～ 活動交流事業  
「青少年団体を訪ねて」開始



活動交流事業「青少年団体を訪ねて」



活動交流ミーティング



ゆめつと青年塾

2009年

- 1月～ 活動交流ミーティング開始
- 3月 ゆめつと青年塾2009開催

2009年

6月～ メダカの池復活大作戦2009開催



メダカの池復活  
大作戦2009開催



2010年

3月 ゆめ応援プロジェクト研修会



ゆめ応援プロジェクト研修会

2012年

8月～ 青少年の活動交流推進プロジェクト  
「ユメノミ」開始  
ユメノミプロジェクトの実施



ユメノミプロジェクト



2013年

1月～ 若者交流サロン「ゆめの湯」開始



若者交流サロン「ゆめの湯」



2015年

事務局移転(京都府庁西別館からPENS創筆庵へ)



親子ゆめひろば

2016年

2月 親子ゆめひろば開催  
(城陽五里五里の丘)

12月 ゆめっとフォーラム2016  
(設立20周年)開始

ゆめっと20周年にあたり、歴代役員の方々にお言葉をいただき、現役員も20周年を迎えて思いをまとめてみました。

## ゆめっと京都への思い

元代表 北村隆幸(京都府青少年海外研修同窓会(就任当時))

平成6年10月にドイツへ訪問したことがきっかけで、京都府青少年海外研修同窓会の一員となり、ゆめっと京都にかかわることになりました。ドイツ訪問時の団長が当時の京都府府民労働部青少年課 課長 加瀬康夫様で有ったことも何かの縁かもしれません。

最初に参加した活動ははっきり覚えてはいませんが、「メダカの池復活大作戦」であったように思います。ボランティア組織に所属されている方とお付き合いするのは初めてであったのですが、当初は少し戸惑っていたように記憶しています。京都府北部での泊まりがけの会議終了後にお酒を飲んだことは良く覚えていて、その時にお会いした竹内文成さんとの出会いがゆめっと京都に深く関わるようになったきっかけであると思います。その時期はゆめっとフェスタが終了し、加盟団体との関係やゆめっと京都の位置づけをどのようにすべきかという課題があり、加盟団体訪問を通じて、加盟団体のことを知ると共にゆめっとに期待する事などを聞こうと言うことになりました。加盟団体訪問では一生懸命やりましたが、冊子の締切もあり、担当分けした分担がこなせない方には無理な要求をしましたので、その結果、ゆめっとの活動から離れられた方も記憶しており、今ではすごく反省しています。私は熱中すると周りが見えなくなる所もあるので、それ以降、活動のやり方には注意をしています。ゆめっと京都の初代代表は故伊住政和さんでしたが、44歳という若さで亡くなられたのが本当に残念です。伊住さんが青少年団体の活性化に力を注がれていたことに対して、心より敬意を表したいと存じます。その他、多くの関係者の方も亡くなれましたが、その方々も含め、結成以前の時期も含め、多くの皆様の思いやご努力により、歩んできたゆめっと京都が20周年を迎えられたことは本当に感慨深いです。時代と共に使命や目的は変わってくるかもしれませんが、地域や関係団体に必要とされる組織であって欲しいと願っております。





前代表 神崎清一(京都YMCA)

ゆめつとの設立20年おめでとうございます。心よりお祝い申し上げますとともに、これまでさまざまなかたちで関わり、お支えくださった方々、携わってくださってこられました皆様に感謝を申し上げます。

20年というのは、もちろん成人式を迎える年限でもあります。これから新たな歩みをする時機でもあります。今を、そしてこれからの担ってくださる皆様、どうぞよろしく願いいたします。

YMCAでは、「若者に幻を、老人に夢を」という聖書箇所をよく用います。若者つまり青少年には、ビジョンをもってほしいこと、簡単ではない、かなわないことにも一つづつ取り組んで理想に少しずつ近づけることのできる可能性があることを信じて。

そして老人は安心して若者にすべてをたくし、素晴らしい夢を語り、夢を見ることができると繋ぐことができればと。

ゆめつとの活動や役割が、京都にあってこれからもますます必要とされますようにお祈りいたします。これからも感謝して夢を語り、夢を見させていただきます。

## 20周年を振り返って

元副代表 梅原正俊(京都曹洞宗青年会)

設立20周年おめでとうございます。一定時期関わらせて頂いた者として大変嬉しく思います。私は京都曹洞宗青年会から派遣という形で京都青少年ゆめネットワークに参加させて頂きました。

在籍期間中にたくさんのお話を学ばせて頂きました。そのひとつをあげるなら、やはり様々な人たちと、あるいは団体とつながることの、協力していくことの大切さです。顔をあわせて、あれこれとお話をさせてもらうなかで、同じような目標を見定めていても、その立場や見地で認識や方法論が異なることを知りました。それを共通のゴールに向かってすりあわせて、手を取り合って力を束ねていくことで、より大きな成果が得られることも知りました。貴重な経験をさせて頂いたと考えています。

SNSが格段の進化を遂げ、個人と個人の距離がぐっと縮まりました。団体の有り様も大きく変貌したと思われまふ。社会の問題や課題も、またその解決に挑もうとする人たちも以前より近い存在になったと思われまふ。京都青少年ゆめネットワークの活躍の場もどんどん増えていくと考えられまふ。今後のご発展を祈念してまふ。

## ゆめっと京都の20周年に

元代表 石橋裕志

(まち遊びフェスティバル実行委員会(就任当時))

私が夢中になって「ゆめっと京都」の活動に没頭したのは、もう15年ぐらい前のことです。当時は北部からも何名かの役員が参画して、縦貫道もとぎれとぎれの道のりを2時間走って、2時間会議、そして2時間かけて帰るという状況でした。

ネットワークという仕組みは、なかなか実体がみえにくく、手ごたえも伝わりにくいのですが、少なくとも中心付近にいる方々、今の役員さんたちにはパワーの絶対値が求められると思います。手ごたえの少ない中での活動といいますと、なんとも理不尽な話ですが、時代にあっていなからうが、ちょっとぐらい冒険だろうが、方向が間違っていようが構わないのです。自分たちが力を発揮しやすい領域に思い切って全力で突き進み、楽しくやっている様子をネットワークの末端にいる私にまで届けてほしいと思います。

求められるのはパワーの絶対値ですから、プラスマイナスは問わないのです。

おおきくネットを揺さぶってくれることを期待しています。

## ゆめっと京都20周年をむかえて

現副代表 植月和男

(茶道裏千家淡交会総本部青年部)

今年で20周年を迎えたゆめっと京都に私に関わることになったのは10年前のこと。私が所属する団体から派遣されていた前任者から引き継ぐ形で役員となり、その後10年間役員を務めてきました。10年前折しも、ゆめっと京都は設立10周年をむかえる年でしたので、「ゆめっとフェスタ2006」という大きな行事に関わることから私とゆめっととの関わりが始まりました。所属団体でやっていることとゆめっとでやることには大きく異なることもあり、一から勉強させてもらう気持ちで(これはいまでも変わりませんが)必死だった気がします。

10年間、様々な事業を行い、様々な方々たちとつながりを持つことができました。しかしながら、近年は組織体制が縮小化しており、大きな事業や複数の事業を行うことが厳しくなっています。加盟団体や学生団体など様々な方々には是非ともゆめっとに関わっていただきたいと切に願います。

平成29年度もいくつかの事業を計画していますので頑張っていきたいと思いますし、30周年を笑顔でむかえられるように、これからも様々な事業を行い、様々な方々たちとつながっていきたく思います。

## ゆめっと京都20年とともに

現統轄 仲 友治(青年塾むげんの会)

ゆめっと京都の役員歴は、平成13年度からで、16年間に及びます。もともと平成8年度と9年度は、京都府から青少年育成協会に出向して、青年会館(愛称は、ウイングパル京都)を拠点として、ゆめっと京都の事務局を担当しておりました。知事にご出席いただいた設立総会に立ち会ったことや、盛大な設立記念イベント「ゆめっとフェスタ」が昨日のこのように目に浮かびます。2年間の出向期間を終えて、異動になった平成10年度から12年度までは、個人会員や青年塾スタッフなどでしたので、ゆめっと設立からずっと何らかの役割をしていたこととなります。

さらに、ゆめっと京都の設立以前、平成3年度から4年間、京都府の青少年課におりましたので、本当に長い期間を青少年関係に関わってきたものです。

ゆめっと京都の役員活動の中で、いろんな事業に関わってきました。ゆめっとフェスタ、ゆめっとフォーラム、ゆめっと青年塾、ゆめ企画コンテスト、災害ボランティアなど。

そのときそのときの時代の流れにより、役員、スタッフが協力して、事業を企画し、実行してまいりました。ここに、当時、ご尽力いただいた役員、スタッフの皆様へ感謝申し上げます。既に亡くなられている役員、スタッフの方々にも、感謝の気持ちを届けたいと思います。皆様、ありがとうございました。

ゆめっと20年間には、楽しいこと、うれしいこと、辛かったこと、一杯ありました。

特に印象に残っているのは、ゆめっと京都10周年を契機として、加盟団体の枠を越えて、京都府内で活動する様々な団体、グループとのネットワークを広げ、青少年の活動を支援しようというコンセプトを立てて、京都府内の青少年団体取材した上で、年に数回、おしゃれなカフェやコミュニティスペースを借り切って、青少年団体が活動を発表し、交流を図った、活動交流ミーティングを開催したことです。

この活動交流事業をはじめ、取り組んできました様々な事業により、青少年団体の活性化、ネットワークの構築が確実に一歩ずつ進んだと自負しています。

インターネットがなかった時代から、インターネットが日常的に使われる社会に移行しても、顔が見える関係が重要であります。

今後も、ゆめっと京都は、京都の青少年活動を支援するネットワーク組織であり続けてほしいと思います。そのためには、私もできる範囲でお手伝いをしますので、多くの青少年団体、関係団体の皆様の御支援、御協力をいただきますよう、よろしく申し上げます。

京都に「ゆめっと」があつてよかったと言われることを願って。

# ユメをカタチにするプロジェクト

## 2017ゆめ企画コンテスト企画募集!

青少年の活動交流推進プロジェクト(ユメノミ)では、青少年が中心となって実施する企画を公募します。優秀と認められた企画について、青少年の活動交流推進プロジェクトと、企画した団体との共催として実施することとし、京都府地域力再生交付金に申請します。大きな収入を得にくい事業については、京都青少年ゆめネットワークから助成を行います。

### ◎ 応募条件

- ・非営利かつ社会的意義がある企画であること。
- ・京都府内で開催される企画であること。
- ・青少年が中心となって企画していること。
- ・2017年6月から2018年2月までに実施されること。

### ◎ 応募方法

ゆめ企画コンテスト申込用紙に必要事項を記載の上、青少年の活動交流推進プロジェクト事務局へ、電子メールにて提出してください。(応募締切: 2017年4月28日)  
申込用紙の詳細は、裏面をご覧ください。

### ◎ 審査方法

第1次審査(書面審査) 2017年5月上旬  
第2次審査(プレゼン審査) 2017年5月中旬

### ◎ 事業の実施方法

青少年の活動交流推進プロジェクトと、企画した団体との共催として実施します。  
2018年5月頃に開催する報告会にて、実施結果を報告していただきます。

### ◎ お問い合わせ・応募先

青少年の活動交流推進プロジェクト(ユメノミ)  
(事務局団体) 京都青少年ゆめネットワーク(ゆめっと京都)  
所在地 〒604-8423 京都市中京区西ノ京西月光町18-2-1  
ポジティブアースネイチャーズスクール 京都町家事務所(創筆庵)内  
E-メール office@yumet.org  
ホームページ http://yumet.org/

### ◎ 申請書の記載について

申込用紙は、京都青少年ゆめネットワーク(ゆめっと京都)のホームページからダウンロードできます。  
申込用紙は、次の様式により作成してください。

#### 実施計画書

企画グループの名称、代表者の住所、氏名  
企画の名称、事業の趣旨、目的  
事業計画(実施時期、実施場所、参加対象、実施内容など具体的に記入)

#### 予算書

収入内訳、支出内訳は、想定している内容を記載してください。  
ユメノミ交付金とは、青少年の活動交流推進プロジェクト(ユメノミ)と、企画した団体との共催として事業を実施することとし、京都府地域力再生交付金に申請する交付金です。対象経費の2/3まで交付される可能性があります。  
助成対象、助成対象外の経費は、予算書の説明をご覧ください。

### ◎ 研修の実施

京都青少年ゆめネットワークでは、平成29年度に、事業実施に当たって役に立つ研修を企画します。  
ユメノミ事業のスタッフは、無料で参加できますので、ぜひご利用ください。

(研修内容) 予定ですので、変更する可能性があります。

- ・クラウドファンディング初歩講座
- ・ホームページ運営講座
- ・ファシリテーション講座

### ◎ 応募に当たって

記載された個人と特定される情報は、当該目的にのみ使用します。  
京都府地域力再生交付金については、京都府のホームページを参照ください。  
<http://www.pref.kyoto.jp/chikiriyoku/index.html>

### ◎ 青少年の活動交流推進プロジェクト(ユメノミ)とは

明日の京都を担う青少年による地域課題の解決、地域の活性化を目指した、自由でオープンなプラットフォームです。

京都青少年ゆめネットワーク(ゆめっと京都)と京都府青少年課が協働して設置しています。

青少年が実現したいことを持ち寄って、仲間の夢を聴き、深い語りあいを通して、夢の実現を目指します。